

「ライトアート in 折立」

折立市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

平成28年度から活動している折立素敵物語実行委員会では、折立学区の立体地形模型などを制作し、それらを使って折立小学校で出前授業を実施するなど、若い世代にも地域に関心を持ってもらえるよう活動を行ってきました。

令和元年度には折立小学校6年生の授業「町の幸福論」で発表された小学生のアイデアから、地域活性化を目的として、折立公園で光をモチーフにしたイベント「ライトアート in 折立」が初めて開催されました。今年度で6回目を迎え、折立地域の冬の風物詩として欠かせないイベントとなっています。



2 令和6年度の活動

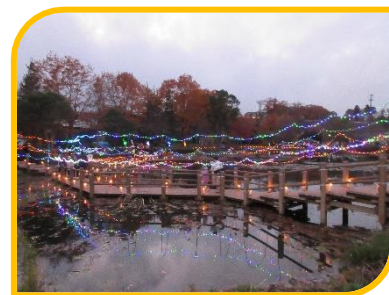


今年も折立市民センター主催事業「おりたてZ世代プロジェクト」の中高校生企画員が、来場する小学生のために3つのコーナーを企画・運営しました。会場内にキーワードを隠し、小学生が探し当てる「キーワードラリー」や「折り紙リース作り」、「ランタンツリーお絵かき」のワークショップで盛り上げてくれました。また、イベント当日までの準備では、運営委員の皆さんで池の中の「葦刈り」を重ね、池に映るイルミネーションの輝きがさらに増すよう環境整備に力を入れました。イルミネーションやランタン、ピカボードが相まって幻想的な世界を作り出しました。

3 成果と課題

11月30日のイベント当日は、約2,000人の来場者があり、イルミネーションのトンネルやランタン、ピカボードなどの美しさに感動の声が上がっていました。昨年からの折立中学校の協力により実現した中学校の校舎屋上からの会場観覧には、約300人のご来場をいただき、中学校のPTAによる校内での誘導や案内などの協力もありました。

このように、地域の学校・地域団体などの協力により進めている本事業は、幅広い世代の地域住民や、大学生ボランティアなど、合わせて100名以上のスタッフが関わっています。この地域の繋がりを強固にし、今後もこのイベントを持続させていくことや折立素敵物語実行委員会の後継者育成が今後の課題となっています。



4 今後の展望

課題解決のためには「おりたてZ世代プロジェクト」の企画員をはじめとする地域の子供たちが様々な場面で活躍することで、地域活動に関心を持つ住民が増えるような仕組みづくりができればと思います。小学校や中学校のPTAとの結びつきをさらに深め、次世代の地域を担う人材の育成に繋げていくとともに、若い世代からの地域活性化を促していきたいと思っています。

